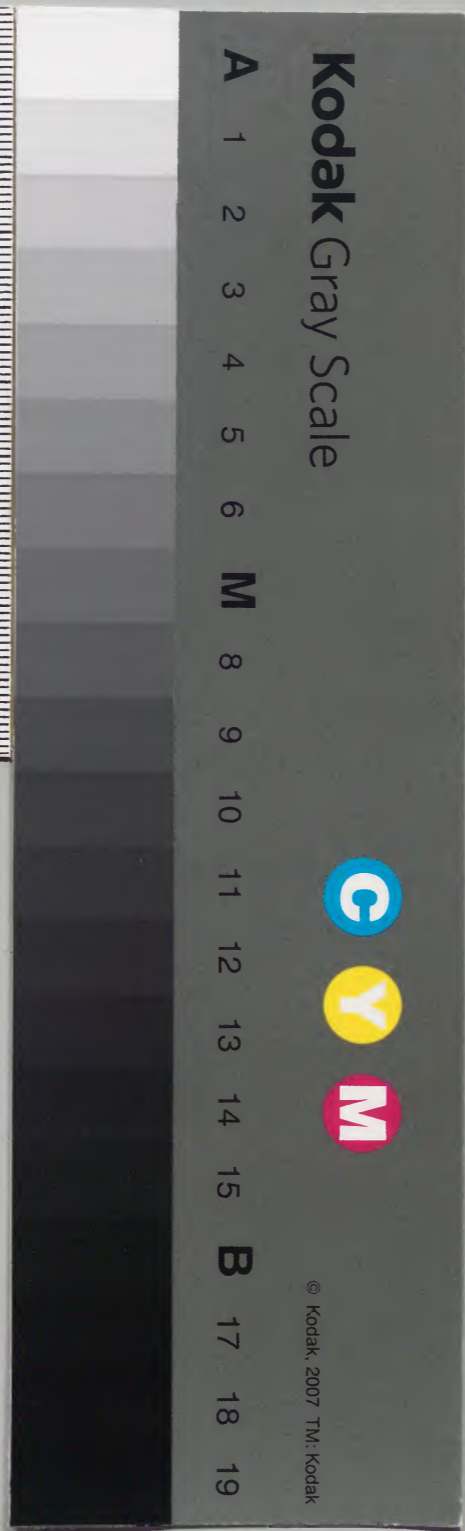


羣書類從

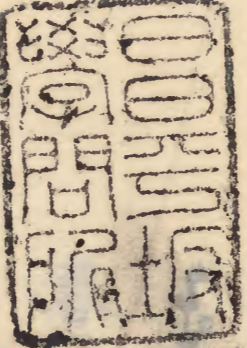
二百五十七

內閣文庫	和書類
三八三六八	冊號
九八	冊
二六	函架

內閣文庫
番號 和 38368
冊數 91 (50)
函號 261 8



群書類従巻第二百五十七



和歌部百十二 家集卅

源有房朝臣集

春

子日

Handwritten text in cursive style (sōsho), including the characters '子日' and '橋邊霞'.

卷二百五十七

長きことりしき花のしほりては

海邊霞

あまのりちのりちのりちのりち

雨伴鶴

あまのりちのりちのりちのりち

青梅香渡水

あまのりちのりちのりちのりち

山家梅

あまのりちのりちのりちのりち

對山待死

あまのりちのりちのりちのりち

梅

あまのりちのりちのりちのりち

あまのりちのりちのりちのりち

日吉歌合

あまのりちのりちのりちのりち

重龍の歌合

あまのりちのりちのりちのりち

梅雛家

あまのりちのりちのりちのりち

水上落死

ふらふらあしをくんとていふあつふ死らるるはなほいふはなほ
二条院の湯前とて遠守強死とていふは

らあつふとていふあつふとていふはなほいふはなほ

因幡帰雁

おきあつふとていふあつふとていふはなほいふはなほ

奥子易成

あつふとていふあつふとていふはなほいふはなほ

藤花

あつふとていふあつふとていふはなほいふはなほ

春暮

あつふとていふあつふとていふはなほいふはなほ

夏

秋

あつふとていふあつふとていふはなほいふはなほ

あつふとていふあつふとていふはなほいふはなほ

あつふとていふあつふとていふはなほいふはなほ

あつふとていふあつふとていふはなほいふはなほ

雨津秋

あつふとていふあつふとていふはなほいふはなほ

氷雞と

今もよのひのうらみはなほあはれぬ

萬葉

あはれぬはなはたのうらみはなほあはれぬ

早苗

あはれぬはなはたのうらみはなほあはれぬ

五月也

あはれぬはなはたのうらみはなほあはれぬ

あはれぬはなはたのうらみはなほあはれぬ

社改廬橋

あはれぬはなはたのうらみはなほあはれぬ

秋

あはれぬはなはたのうらみはなほあはれぬ

樹陰晩涼

あはれぬはなはたのうらみはなほあはれぬ

秋

あはれぬはなはたのうらみはなほあはれぬ

秋

あはれぬはなはたのうらみはなほあはれぬ

あはれぬはなはたのうらみはなほあはれぬ

種威の家前合の事記を

あつてはせしむるにさしつかへなくぬべきよしをいふ

皇太后の御病癒すと霧野の死すと云ふ

と云ふことなきにせしむるにさしつかへなくぬべきよしをいふ

高松宮の御命は中葉にさしつかへなくぬべきよしをいふ

徳田公の御命は中葉にさしつかへなくぬべきよしをいふ

萩

又まゝにせしむるにさしつかへなくぬべきよしをいふ

閑居萩のついでに

あつてはせしむるにさしつかへなくぬべきよしをいふ

馬

あつてはせしむるにさしつかへなくぬべきよしをいふ

種威の家前合の事記を

あつてはせしむるにさしつかへなくぬべきよしをいふ

田家秋意

あつてはせしむるにさしつかへなくぬべきよしをいふ

秋の明月

あつてはせしむるにさしつかへなくぬべきよしをいふ

高松宮の御命は中葉にさしつかへなくぬべきよしをいふ

あつてはせしむるにさしつかへなくぬべきよしをいふ

右外見月のしるし

月影のまじりたるはつらつとて
後

山椒梅風

梅の香のしるしのはるかに
あはれ

紅葉未盛

あはれ紅葉のしるしは
あはれ

落葉

あはれ落葉のしるしは
あはれ

霧中落葉

あはれ霧中のしるしは
あはれ

海邊秋意

あはれ海邊のしるしは
あはれ

霧中秋暮

あはれ霧中のしるしは
あはれ

冬

時雨

あはれ時雨のしるしは
あはれ

山居初雪

あはれ山居のしるしは
あはれ

霧中深雪のしるし

あまのついでにうらなひをたのむるはとほひのついでに

行路の

たのむるはとほひのついでにうらなひをたのむるは

書中若来

あまのついでにうらなひをたのむるはとほひのついでに

書

あまのついでにうらなひをたのむるはとほひのついでに

あまのついでにうらなひをたのむるはとほひのついでに

晚頭千鳥

あまのついでにうらなひをたのむるはとほひのついでに

曉千鳥

あまのついでにうらなひをたのむるはとほひのついでに

あまのついでにうらなひをたのむるはとほひのついでに

あまの

あまのついでにうらなひをたのむるはとほひのついでに

湖と水鳥

あまのついでにうらなひをたのむるはとほひのついでに

あまの

あまのついでにうらなひをたのむるはとほひのついでに

社次を

花下恋

水色月

花下恋

恋

恋

花下恋

恋

花下恋

花下恋

花下恋

花下恋

花下恋

恋

花下恋

恋

花下恋

恋

花下恋

恋

花下恋

春恋

春恋の心は春の風
恋の心は春の風
恋の心は春の風

恋の心は春の風
恋の心は春の風
恋の心は春の風

恋の心は春の風
恋の心は春の風
恋の心は春の風

恋の心は春の風
恋の心は春の風
恋の心は春の風

恋の心は春の風
恋の心は春の風
恋の心は春の風

被屋書恋

被屋書恋の心は
被屋書恋の心は
被屋書恋の心は

被屋書恋の心は
被屋書恋の心は
被屋書恋の心は

被屋書恋の心は
被屋書恋の心は
被屋書恋の心は

被屋書恋の心は
被屋書恋の心は
被屋書恋の心は

意乃くは長

ありはらるるのいふはれはつらなるふはばあきくられ

いふはらるるのいふはれはつらなるふはばあきくられ

いふはらるるのいふはれはつらなるふはばあきくられ

いふはらるるのいふはれはつらなるふはばあきくられ

難

あつたつて

あつたつて

あつたつて

あつたつて

あつたつて

あつたつて

あつたつて

あつたつて

あつたつて

あつたつて

あつたつて

あつたつて

あつたつて

あつたつて

あつたつて

あつたつて

あつたつて

あつたつて

Handwritten text in Arabic script, first line.

Handwritten text in Arabic script, second line.

Handwritten text in Arabic script, third line.

Handwritten text in Arabic script, fourth line.

Handwritten text in Arabic script, fifth line.

Handwritten text in Arabic script, sixth line.

Handwritten text in Arabic script, seventh line.

Handwritten text in Arabic script, eighth line.

Handwritten text in Arabic script, ninth line.

Handwritten text in Arabic script, tenth line.

Handwritten text in Arabic script, first line of the second page.

Handwritten text in Arabic script, second line of the second page.

Handwritten text in Arabic script, third line of the second page.

Handwritten text in Arabic script, fourth line of the second page.

Handwritten text in Arabic script, fifth line of the second page.

Handwritten text in Arabic script, sixth line of the second page.

Handwritten text in Arabic script, seventh line of the second page.

Handwritten text in Arabic script, eighth line of the second page.

Handwritten text in Arabic script, ninth line of the second page.

Handwritten text in Arabic script, tenth line of the second page.

右添有房朝臣集以正花房宗國幸去寫一校了

[Faint handwritten text, likely bleed-through from the reverse side]

平忠度朝臣集

春

立春

[Faint handwritten text]

震

[Faint handwritten text]

種國歸家示命了

[Faint handwritten text]

子日

[Faint handwritten text]